


横尾山静円寺本堂



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	よこおさんじょうえんじほんどう
所在地	瀬戸内市邑久町本庄
指定年月日	昭和31年4月1日
解説	棟札に天正7年(1579)11月3日上棟と書かれている。江戸時代中頃に現在地に移転された。牛窓村錦敷家長が棟梁である。桁行五間、梁間五間、単層の入母屋造、本瓦葺である。背面を除いた三面に縁を設け、正面には一間の向拝がつく。妻飾りは二重虹梁大瓶束式に臺股を配する。柱は円柱で、軒は二重繁垂木である。組物は和様の出組で、中備には簀束を用いる。内陣には須弥壇を設け、そこに入母屋造、宮殿型の厨子を置いている。須弥壇の装飾には、室町時代の特徴が見られる。江戸時代に改修されている部分が多いものの、室町時代の特徴が色濃く残っている。
アクセス方法	JR邑久駅から車で10分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場 
備考	